

第226話 小塩御福田田植踊 その1 中山町歴史散策

由来について

小塩の田植踊は、御福田と田植踊とは本来別物であったと思われるが、いつの頃からか一つの行事になったものようです。

御福田は、その内容から見て、葉山信仰に係わる行事で、「作のまつり、豊作祈願」であったとみられます。葉山は標高1462メートルの霊山で、山頂に葉山大権現が祀られ、出羽三山の一つで、古く最上地方開拓の時代は、開拓守護神、作神として崇められました。

「三代実録」にある、「貞観十二年八月二十八日従五位下」に叙された白磐神が葉山神との説もあり、修験場として一二坊がありました。葉山大円院は、村山市岩野の葉山修験道の本山で、役行者及び木彫の三猿の像が祀られています。

祭礼は7月1日と11月8日でした。

「小塩御福田」は旧正月20日前後（現在は2月20日頃の日曜日）に行われるが、趣旨は農作祈願であったであろう

が、今は新築や新婚家庭の祝いや祈禱も行っています。

以前はヤドは村の名主などの大きな家を選び、若者だけで一切の準備に入っていました。現在では、場所は小塩構造改善センターとなっており、地区内の方々が準備を行います。また、昔は参加者全員が水垢離を取り、村中から集めた餅米を別の火で蒸かして大白で餅つきを行いました。ついた餅は小餅に丸めて御福田と称し、神前に供えた後、参拝者に配りました。この行事を御福田と呼んだのは、このお供えの餅の名称から起こったものです。

語句の説明

三代実録…「日本三代実録」のこと。「六国史」の一つ。「文徳実録」に続く勅撰の歴史書。藤原時平らの撰。901年に完成した。

※中山町史 中巻

第10章第4節「民俗芸能と娯楽」から

私たち地域おこし協力隊です！ No.92

桜の季節が終わって新緑の時ですね。おかげさまで爽やかな風景に癒されながら『なかやまぐらし』を楽しんでおります。大自然も身近にあり治安も良く、何より移動のための交通網が便利。行動派の私にはぴったりの中山町。そして四方を遠くまで見渡せる山形盆地の真ん中にある町。夜は遠くに町あかりが揺れてる。物語の中にいるようで、日常を忘れて眺めてられるこの風景。だから夜でもずっと外に居たいと思ってしまう。

今年度も旧情報・物産館『まるっと』での活動が許可されました。天気の良い日は足湯前の芝生で昼ご飯を食べています。なかやまぐらしの『おひさまランチ』と呼んでピクニック気分を楽しんでいます。私は『食』にこだわりがありマニアックな性格でお弁当の冷えたごはんが好きです。冷えたごはんは硬いのでよく噛むことになり、じっくりお米を味わえます。そして自分のペースで食べることで心が落ち着くからです。

せっかちで早とちりな私は失敗が多いです。落ち込むこともありますが、美味しいご飯と中山町から見る風景に励まされています。天気の良い日は外で一緒に『おひさまランチ』しませんか？



阿部美恵子

出身地：栃木県鹿沼市
趣味：高校野球観戦



かぶくんの木は桜だった！



芝生にテーブルとイスを出して昼休み

●協力隊への問い合わせ先● 阿部 ☎662-4271（総合政策課）